

「目のまわりのくぼみ」は加齢により内側の筋肉が薄くなるためだった 加齢で薄くなる「眼輪筋」を改善するエキスを発見

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：釘丸和也）は、加齢によって生じる「目のまわりのくぼみ」の原因を解明し、それを改善するエキスを発見しました。

「目のまわりのくぼみ」に関する新発見

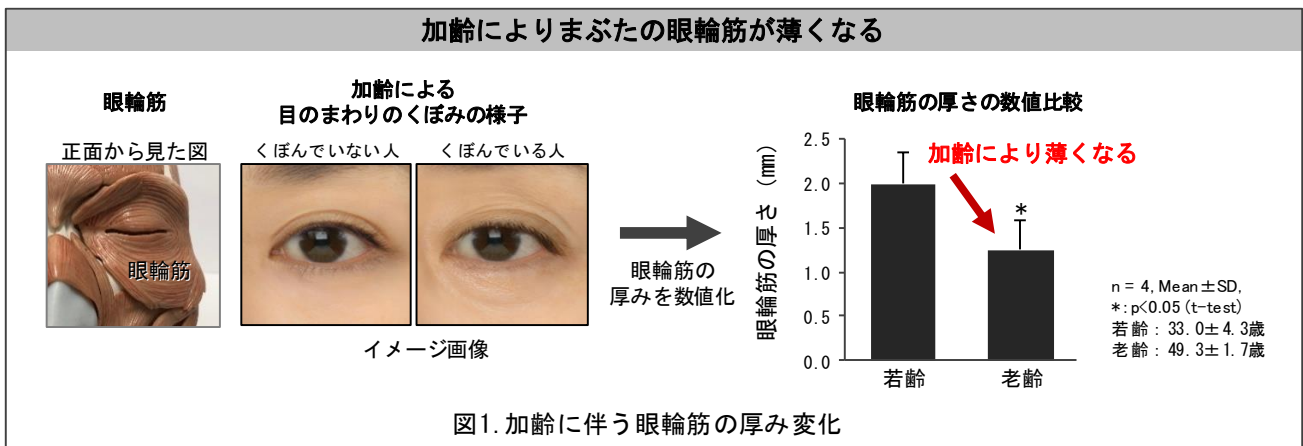
- ① 年をとって目のまわりがくぼんだ人は、目のまわりの「眼輪筋※」という筋肉が薄くなっている
- ② 眼輪筋が薄くなる原因は、眼輪筋の主要構成たんぱく質が加齢によって減ってしまうからである
- ③ 眼輪筋の主要構成たんぱく質は、新開発の独自複合成分CF(Core Forming)エキスにより増やすことができる

本成果より、薄くなった眼輪筋に厚みをもたせ、目のまわりのくぼみ改善の実現が期待できます。これらの研究成果は、今秋発売される株式会社ポーラの商品を始め、ポーラ・オルビスグループの商品に活用される予定です。本知見は、2017年第35回日本美容皮膚科学会総会・学術大会および2018年 International Investigative Dermatology にて発表いたしました。

※ 目を取り囲むように輪状に発達している、まぶたを開閉する筋肉。

加齢にともなう目のまわりのくぼみは、筋肉が薄くなってしまうことが原因

年をとると、目のまわりがくぼんでしまいます。これまでその原因はよくわかっていませんでしたが、今回、病院の精密検査などに使われる装置MRIをつかって目のまわりの内部構造を観察したところ、くぼんでいる人は眼輪筋が薄くなっていることがわかりました（図1）。したがって、まぶたの内側にある眼輪筋が薄くなるために、皮膚が落ちくぼんでしまうのだと考えられました。

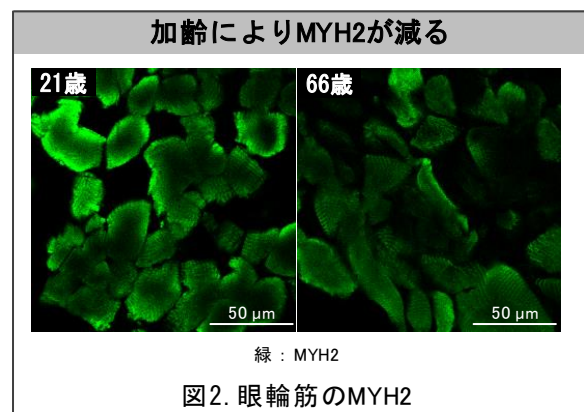


眼輪筋の材料成分の不足により、眼輪筋が薄くなる

眼輪筋が薄くなってしまう原因を詳しく調べたところ、筋細胞が生み出すミオシンヘビーチェーン2 (MYH2: 眼輪筋を構成する主なたんぱく質) の量が加齢によって減ってしまうことを発見しました（図2）。年を取ると目がくぼんでしまうのは、眼輪筋の材料となるたんぱく質が不足して眼輪筋が薄くなるためだと考えられます。

眼輪筋の材料成分を増やすエキスを開発

MYH2を増やすエキスとして、マロニエとマドンナリリー根の独自複合成分CFエキスを開発しました（補足資料）。このエキスを使用した化粧品は、眼輪筋の厚みを取り戻し目のまわりのくぼみを改善してくれることが期待できます。



【補足資料】 CF エキスの作用について

筋肉を構成する筋細胞にマロニエとマドンナリリー根の独自複合成分 CF エキスを添加すると、筋細胞が MYH2 を作る働きを高める効果があることを確認しました。(図 3)。

